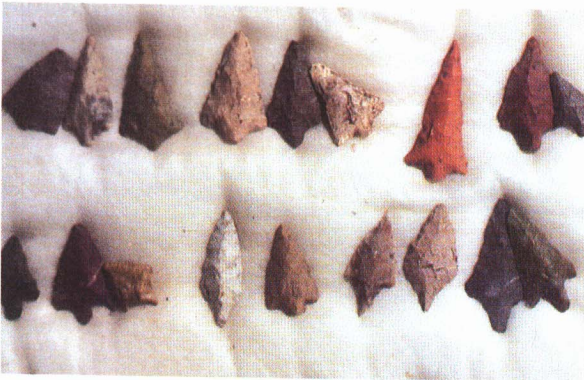


# 香炉形土器 (田子畑遺跡出土)

平成二年一月 村重要文化財指定  
 所在地 新鶴村大字和田目字沢田乙五一〇の一  
 所有者 飯森修二氏

この土器は、仏具の香炉に似ている所から香炉形土器と呼ばれて  
 信仰土器であると考えられ、東北地方では数少ない出土品である。  
 一般には上部に吊下げる紐孔のあるものが多いようであるが、  
 この土器は底部に一センチ程の台が付いている珍しい形である。  
 縄文時代晩期(前一〇〇〇年位)頃の大洞C<sub>2</sub>式のものと言われ、  
 佐賀瀬川扇状地末端に位置する高台の田子畑遺跡より出土した  
 もので、先住民の信仰生活がうかがわれる。

器高九、二センチ、最大径一一、六センチ、最小径九、九センチ



佐賀瀬川出土 石鏃類



京安林出土土器  
 (縄文中期)



香炉形土器